

ハウス暖房機の台風事前事後対策

1. 台風前事前対策

①加温機本体

- ・倒れないように杭・アンカー・ロープ等で固定並びに補強する。
- ・敷きブロックから落ちないように固定する。
- ・雨等にぬれないようカバーをかける。
- ・燃料パイプも破損しないように点検・補強しておく。
- ・本体の電源は切っておく。
- ・できるだけ煙突、制御盤を取り外しておく。
- ・周囲の飛散しそうな物を撤去する。

②燃料タンク

- ・倒れないように杭・アンカー・ロープ等で固定並びに補強する。
(防油堤にアンカー固定すること)
- ・給油口の蓋、燃料コックの閉まりと燃油残量を確認する。
- ・油漏れや盗難防止のために給油口の蓋をしっかり締め、
給油口やドレーン等を施錠する。
- ・破損防止のため、本体や配管付近の周囲にある危険物を除去しておく。
- ・燃料パイプが破損しないように点検・補強しておく。

③その他

- ・NOSA Iの園芸施設共済に加入しておく。
※詳細については、お近くの農業共済組合や保険代理店にご確認ください。



2. 台風通過後の対応

- ・本体・タンク・配管・配線等の破損箇所や固定の緩み、本体泥水やゴミ等の混入がないか確認する。
※冠水等により泥やゴミの混入や潮風を受けた場合は、まず動力噴霧機などを使用し水で洗い流す。
サビ防止のためにも、この作業はなるべく早く行い、基盤等が濡れた場合は絶対に電源を入れない。
 - ①基盤又はバーナー部分が浸水した場合は、電源等入れないでメーカーに点検を依頼する。
 - ②基盤又はバーナー部分が浸水していない場合は、電気系統確認後に電源を入れ釜を乾かす。また、本体浸水部分のパッキンは交換するように努める。
- ・片付けの際は、電気配線や燃料の配管を傷つけないよう注意する。
- ・被災の認定を受けるには証拠となる被害写真が必要な場合が多いので、台風・強風が通過した後は早急に施設を見回り、被害写真を撮影しておく。また施設周辺が水で溢れている場合は排水を実施する。